

# 雨水貯留施設の洪水調節効果

— 9月15～16日の台風第18号豪雨などで校庭に一時的に雨水を貯めました —

## 概要

武庫川では、市街地の進展に伴い保水・貯水能力が低下していること、また低平地に人口・資産が集中していることから、河川対策と併せ、学校・公園・ため池等の約100箇所で貯留施設整備に取り組むこととしています。

平成24年度末で2箇所の校庭貯留施設が完成し、今年9月の台風第18号などの豪雨において、貯留効果を発揮しました。

## 位置図

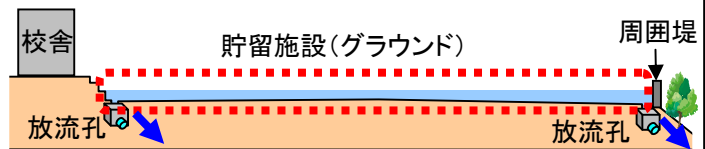


## ① 県立宝塚東高校

### 貯留施設の概要

グラウンドとテニスコートに周囲堤を設置し、雨水を一時的に貯留します。

- 最大貯留量: 約2,270m<sup>3</sup> → **25mプール 約4杯分に相当**
- 最大貯留水深: 約35cm(グラウンド)  
約25cm(テニスコート)



### 今回豪雨での事業効果

9月の台風18号では、25mプール約3杯分に相当する雨(約1,750m<sup>3</sup>)を一時的に貯留できました。



## 豪雨の状況

武庫川では、台風第18号は、平成16年台風第23号以降で最大の洪水でした。

	観測所	(単位:mm)	
		時間最大	24時間最大
平成25年8月豪雨 (8月25日)	伊丹 (伊丹市)	51	130
平成25年台風第18号 (9月15日～16日)	宝塚 (宝塚市)	30	239

## 貯留状況(宝塚東高校)

### 平常時



大雨時には、校庭で雨を一時的に貯留します。

### 大雨時



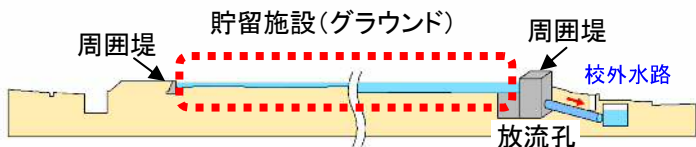
※H24年7月の貯留写真

## ② 県立阪神昆陽高校

### 貯留施設の概要

グラウンドに周囲堤を設置し、雨水を一時的に貯留します。

- 最大貯留量: 約1,130m<sup>3</sup> → **25mプール 約2杯分に相当**
- 最大貯留水深: 約36cm(グラウンド)



### 今回豪雨での事業効果

8月25日の豪雨では、25mプール約1杯分に相当する雨(約660m<sup>3</sup>)を一時的に貯留できました。

